

かながわの風

30
January
2021

<http://www.kacsw.or.jp>



特集

新型コロナウイルス感染症と
ソーシャルワーカー〈第3弾〉
.....p.4

- 年頭所感「新しい年への希望と決意」..... p.2
- 支部長に聞く!今年の支部の抱負 p.3
- 多文化ソーシャルワーク委員会の活動報告 p.5
- コロナ禍臨時特集「社会福祉士とわたし」..... p.6
- 2020(令和2)年度 理事会 報告 p.7
- 公開講座・研修情報 p.8





年頭所感

新しい年への希望と決意

会長 すみ こう ち 隅河内 司

2021年(令和3年)、新年が明けました。神奈川県民の皆様と会員の皆さまには、本会の活動に日頃からのご理解とご支援を頂き誠にありがとうございます。本年もよろしく願いいたします。

昨年は、新型コロナウイルス感染症への対応というこれまで経験したことがないような状況下で、多くの人たちが様々な困難に直面し、当たり前の日常を失い困惑しながら必死に生活を営んでこられたことでしょう。本会は、このような時期にあっても支援を必要とする人々に対して、その生活と権利を守るために実践を続けることが社会福祉士の使命であると考え、社会状況の変化に合わせて、オンラインで研修や会議を開催するなど模索しながら活動を進めてまいりました。従来からの事業に加え、新たに設置した「子ども・家庭支援委員会」や「多文化ソーシャルワーク委員会」の運営をはじめ、権利擁護及び相談事業、生活困窮者支援、地域包括ケア推進事業、第三者評価事業など厳しい状況の中でも立ち止まらずに取り組んでまいりました。

新しい年を迎えた今、新型コロナウイルス感染症は、今後ワクチンの接種や治療薬の開発が進められ、収束に向かうことになるかと思われませんが、その時期は明確には見通せません。この現状においても、本会は、ソーシャルワーク団体として、改訂された倫理綱領を基盤に今年も取り組みを止めない、学びの機会を止めないという考えで、工夫を凝らして、様々な対象に働きかけを行っていく所存です。また、夏には、社会福社会館の取り壊しによる本会事務所の移転を予定しており、文字通り、新たな一歩を進めていく重要な年になります。皆様方の一層のご協力をお願いいたします。

さて、社会福祉士への期待は、「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」が公布(2020年6月12日)されたことに伴い高まっており、地域共生社会の実現に向けて中核的な役割を果たすことが求められています。私は、年頭にあって、改めて「共生社会」の姿に思考を巡らせました。私たちがめざす「共生社会」とはどのような社会なのでしょう。私は、恩師が平和学の視点から整理した考え方を追想しました。その基本原理とは、①「反貧困」としての福祉、②「反抑圧・反差別」としての平等、③「戦争」を根絶する平和です。つまり共生社会を考えると、これらのことが共生社会の構成要件になるというものです。ただ、みんなが一緒になんとか暮らしているだけでなく、貧困や抑圧、差別や戦争を絶対になくしていくという考え方を共通のものとしなければならないということです。また、最近「自助、共助、公助」というフレーズを耳にしますが、私たちは生まれながらに自助義務を課せられた市民ではなく、生まれた瞬間から生存権や教育権等の社会権をもっており、ナショナルミニマムが保障される権利主体者です。このことの大切さを未曾有の出来事に際して、改めて確認しました。個々が直面する生活課題を社会問題として捉え、問題解決に向けて努力すること、そして、個人の努力に期待しすぎない社会、寛容な社会、分断と排除を許さない社会、こうした「共生社会」の実現に向けて邁進することこそがソーシャルワーカーに与えられた使命です。

神奈川県社会福祉士会も「ソーシャルワークの専門職団体」として、暮らしの変化に応じて、支え合うことができる「共生社会」を目指して、皆様方と一緒に県民の福祉の向上に取り組んでまいります。本年もよろしく願いいたします。

最後になりましたが、寒さが一段と厳しくなり、空気も乾燥してきています。皆さま方のご健勝とご活躍、そして、一日も早い平穩の訪れを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

今年の支部の抱負

～今年の支部活動を漢字1文字で～



川崎支部

支部長 平山 みちる

結

昨年は、新型コロナウイルス感染症という脅威の中で、先行きが見えないまま生活の変容を迫られた一年でした。

今年は、自粛や「三密」回避により閉ざされ水面下に複雑化された課題が山積し、今まで以上に会員相互の専門性の連携と協働が必要になると思っています。大災害への危機管理にも新たな結びつきや絆の再編が必須。よろしくお祈り致します。

横浜支部

支部長 松下 圭一

歩

2020年は新型コロナの影響により、「三密を避ける」等、これまでの生活様式の大転換が求められる年でした。支部活動の進め方も然りでした。2021年の横浜支部は、新型コロナの一日も早い終息を願いつつ、「活動を止めない」「会員同士のつながり、地域とのつながりを絶やさず」ことを根本に据え、オンラインの活用など現実に即した活動を一步一步進めていきます。皆さんの想いやアイデアも地域連絡会などの場を活用し広く聴き、活動の充実につなげていきたいと思っています。2021年の横浜支部もよろしくお祈り致します。

県央支部

支部長 池田 雄一

戻

あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナの影響で支部活動の停滞を余儀なくされ、明日が見通せない日々を過ごした1年でした。皆さんはそれぞれの分野でどんな1年を過ごされましたでしょうか。今年も新しい生活様式をどのように作っていくか悩み多き1年になりそうです。まずは私たちが歩み築いてきたルールに「戻る」ことを目指していきましょう。その上でリモートではできない福祉という仕事に謙虚に向き合っていくことが大切だと思います。どうぞよろしくお祈り致します。

湘南東支部

支部長 岸谷 一則

寄

湘南東支部は事務局を中心とした運営を行い2年目に入りコロナ禍の中、いち早くオンラインによる定例会や幹事会を行っております。私が個人的に参加できない事が続いても幹事の結集と支部会員協力のもと歩みを止めず進んでいることには感謝の一語しかありません。さて恒例の漢字ですが「寄」です。松田町寄(やどりぎ)という地名があります。何とも好きな響きで、かつて7つの集落が集まって出来た村の名前です。木の下に集まって寄り合いをしたとの謂われです。何気に集まり車座になれる日が来ることを願うばかりです。

西湘支部

支部長 重本 晴賀

繋

昨年は、新型コロナウイルスの影響で大きな変化の年となりました。西湘支部では、コロナ禍でも会員同士が繋がることができるように、昨年からのLINEのオープンチャットを導入しました。こんな時だからこそ、オンラインやSNSで繋がる大切さを実感しています。今年も、時代に合わせて形を変えながらも支部活動の継続を目標に、「虐待」や「生きづらさ」をテーマとした研修を企画していきます。コロナに負けず、一緒に頑張りましょう!

湘南西支部

支部長 和田 貴子

話

昨年は、新型コロナウイルスの影響で、密、飛沫に気を付けると、集合する機会が減りました。特に、困っている事、悩んでいる事の相談がしにくかったと思います。今年度も集合は難しいですが、月1回のオンラインで話しましょう。こんな時だからこそ、会員相互の交流を深めたいと思っています。

相模原支部

支部長 小野澤 和美

笑

コロナ禍で、何もできないまま新しい年を迎えました。新年度は会員同士が集う場として、オンライン上で繋がりを持てるようにしていきたいと考えています。

自分の生活を振り返ると、腹の底から声を出して笑うことがなくなりました。会員同士が高め合う研修はもちろん、笑顔で集える場を創れたらどんなにかいいだろうかと、妄想を膨らませています。笑顔の絶えない1年にしましょう!

横須賀・三浦支部

支部長 吉田 勝利

接

COVID-19の影響により、生活が大きく変わり、私たちの支援を必要とするひとが増える中、私たちのおこなってきた支援方法、関わり方を大きく変化せざるを得ない状況において利用者個々、地域にちかづき・つながる方法を模索しながらまじわり、支援を必要としているひと、地域のNEEDSをうけとることができるように2021年度活動を行っていきたく考えています。

地域包括ケア推進事業部 研修レポート

コロナ禍における社会福祉活動の変化

～ソーシャルワーカーは何を経験し、何をしてきたのか～



「今、この時代を一緒に生きる」

2020年、日本に上陸した新型コロナウイルスの存在は、あらゆるものに大きな影響をもたらしました。私たち、地域包括ケア推進事業部も例外ではなく、年度当初にイメージしていたものとはずいぶん違う形で活動を続けています。おっかなびっくりZoomを操作し、リアルに会うときにはない緊張感を味わいながら研修の企画を行っています。

去る11月29日(日)に「コロナ禍における社会福祉活動の変化～ソーシャルワーカーは何を経験し、何をしてきたのか～」と題し、県民向け研修を開催しました。

当初は県民ホールでの研修を計画していました。準備期間中には、これまでにはない感染症対策やリアル会場での講演とオンラインで参加者をつなぐハイブリット開催などの案も出て、委員自身も新しい試みに不安と期待で胸を膨らませていました。しかし、新規感染者数の増大から、来場される方の負担や不安を鑑みオンライン形式のみの開催となりました。

講師は白梅学園大学長谷川俊雄先生。長谷川先生にはこの数年の間、私たち社会福祉士が直面するホットな課題についてご講義いただいています。そして今年も真ただ中のテーマを真正面から取り上げてくださいました。

平時でさえ支援に結びつきにくい人びとが、コロナ禍という特殊な状況下で、より一層見えにくい存在になっているのではないかと、という投げかけ。他の聴衆の呼吸を感じるリアル会場ではどんな空気になるのだろうと思う瞬間でした。

どんな立場の人も息苦しさをを感じるコロナ禍。この時代を共に生きる、生き抜いてゆくことが共生なのではないかと、柔らかな語り口で私たちの果たすべき役割を示してもらったようにも思います。

また、子ども食堂に話に移ると雰囲気が変わりました。そこは、いつも何か小さなトラブルがあったり、ごちゃごちゃしていて、いつもばたばたしている。しかしそんな中にご子どもたちの居場所がある。「居心地の良さはカオスがもたらす」というひと言に、画面越しに多くの人の顔を見ました。オンラインでもこんな一体感があるのだなあ。

よく「コロナに負けるな」と言います。勝ち負けではないとも言われています。社会福祉士自身がコロナのもたらす制約に負けてしまわずに、一瞬見えにくくなってしまった人びとにつながりを求めてゆく必要があるのだということ、これが私たちにとっての「コロナに負けるな」ということなのかもしれません。

オンライン形式での研修では、リアルにつながらないということにもどかしさがある一方で、これまでつながることができなかった人びとも時間を共有できるという、新しい形を生み出しました。コロナ禍がもたらしたものは「新しい発想でチャレンジしてみようよ」という変化なのかもしれません。

地域包括ケア推進事業部では、今後もさまざまな場所で活動をしている社会福祉士が多様な形でつながりが実感できるよう活動をしてまいります。



多文化ソーシャルワーク委員会の活動報告



委員長 平田美智子

2020年度に発足した多文化ソーシャルワーク委員会では、多文化共生社会で活動できる社会福祉士の人材育成に加え、県民の皆さんの学びの場とネットワークづくりを目指し活動しています。

新型コロナウイルスの感染予防のため、スタディーツアーの開催は困難ですが、ソーシャルディスタンスが確保できる会場づくり、マスク着用・消毒・健康管理の徹底により、予定していた研修を対面で開催することができました。委員会では、研修会の企画は、5月からいち早くZoomを活用することで、職能団体としての活動を継続することができています。

多文化ソーシャルワーク研修会を開催しました

本研修は、認定社会福祉士の認定研修でもあり、毎年、県外の社会福祉士に加え、研修内容が充実していることから国際交流センター等の職員や日本語教師の方々も参加します。本年度は、11月21日(土)と22日(日)の2日間で開催し、23名が参加し、座学の他、通訳場面でのロールプレイ、インドネシア人介護士の発表、外国人支援現場をイメージする寸劇を取り入れ、深い学びの場となりました。



研修会を開催しました

年間3回の研修のうち、1回目は9月18日(金)、「コロナ禍における相談支援の現状」と題し、副委員長の野田有紀が講師を務め、外国籍県民相談窓口あーすぶらざの相談状況とアンケート結果を報告し、外国人相談支援のあり方について受講者19名の皆さんと考えました。



神奈川県外国籍県民支援・相談機関連絡会に出席しました

自主活動グループである神奈川国際・多文化ソーシャルワーク研究会時代から3年連続で出席依頼を頂き、12月11日(金)、同連絡会にZoomで出席し、委員会の活動紹介をさせて頂く他、他職能団体及び国際交流センター職員の方々とはネットワークを構築することができました。

〈2020(令和2)年度 理事会 報告〉

※理事会は偶数月通常・奇数月臨時：
感染対策で会議形式はすべてオンライン会議

■臨時理事会 2020年11月11日(水) 19:30~21:00

議長：隅河内会長 議事録署名：出席全理事・監事 出席理事：14名 欠席：1名 監事：吉田・東海林 事務局2名

審議事項〈議事全承認〉 **議案1：入退会審査9月・10月分**→9月入会13、退会1、転入2転出0、9月末員数3,135名、県内登録者数18,218名、組織率17.21%、10月入会5、退会2、転入0転出1、10月末会員数3,137名、県内登録者数18,215名、組織率17.22% **議案2：ばあとなあ神奈川名簿登録審査・後見人候補者推薦、法人後見状況** 10月1日登録者数601名、家裁名簿登載者数は521名、新規登録0、再登録0、抹消1、更新期限切れは0により、11月1日付けの登録者数は600名、家裁名簿登載者数は521名。推薦依頼10月の依頼は43件、推薦済が2件。継続調整中は39件。部員の後見人交代状況1件。法人後見9件。 **議案3：第三者評価事業の規則改正・制定案** 第三者評価事業の以下の規則類について、改正・制定案を検討。・規則31号 福祉サービス第三者評価事業部運営規則 改正案・細則23号 福祉サービス第三者評価事業・守秘義務及び倫理に関する細則 制定案・細則24号 福祉サービス第三者評価事業・評価決定委員会設置に関する細則制定案・福祉サービス第三者評価事業実施要領-追加事項 **議案4：社会福祉センター入居の確認** 社会福祉センター入居に関して状況を再確認し、入居について検討。 **議案5：2021年度各受託事業の受託に関する本会の考え方** 各委託事業の継続に関し依頼があった場合には、本会として継続することを確認。対象の事業は厚木のかがやき、相模原のはばたき、定着支援センターに関する受託。

協議事項〈協議・報告事項はすべて了承〉 ①ばあとなあ神奈川 無報酬事業の受任要請への体制整備(意見交換)：法人後見に限定した事務執行者への補助についての体制整備に関して意見交換 ②計画及び予算策定にあたっての本会の基本的考え方：基本方針について確認、各支部事業部委員会へ周知する。

報告事項 ①規則57号事務経費の負担及び納入に関する規則・58号事務経費の免除に関する規則の施行日 ②第5期(2021・2022)代議員の選出状況-選管委員会報告 ③会計執行状況 ④業務執行理事活動報告 正副会長動向 ⑤各委員会事業部2か月報告 ⑥支部活動報告 ⑦各推薦後援状況- 県社協の新任福祉・介護施設等職員等職員合同交流研究会の後援、横浜市社協への委員推薦 ⑧10月10日開催通常理事会議事録 ⑨10月10日開催支部役員連絡会記録

■通常理事会 2020年12月9日(水) 19:30~20:45

議長：隅河内会長 議事録署名：出席全理事・監事 出席理事：13名 欠席：2名 監事：吉田・東海林 事務局2名

審議事項〈議事全承認〉 **議案1：入退会審査**→11月入会7、退会0、転入2転出1、11月末員数3,145名、県内登録者数18,218名、組織率17.26% **議案2：ばあとなあ神奈川名簿登録審査・後見人候補者推薦、法人後見状況** 12月1日登録者数600名、家裁名簿登載者数521名、新規登録0、再登録0、抹消0、更新期限切0、11月と同じ。11月推薦依頼34件で推薦済6件、調整中28件、不受理・取下0。部員の後見人交代状況2件、法人後見前回同様9件 **議案3：日本社会福祉士会役員立候補者選出投票** 意見集約後選出について正副会長に一任、選出期限の1月15日までに回答。 **議案4：規則類の改正案** 法律の改正による改正案(細則8・9)と基準5の変更内容を確認。細則8号職員の介護休暇に関する細則改正案・細則9号職員の子の看護休暇に関する細則改正案・基準5号ハラスメントの防止について改正案

協議事項〈協議・報告事項はすべて了承〉 ①理事会日程(1月~3月)1月13日・2月10日・3月10日 夜19:30~オンラインで予定。 ②2020年度第2回支部役員連絡会 第2回連絡会は、2021年3月14日(日)午前中、オンラインで予定。 ③平塚市ホームレス巡回相談—全国調査の委託対応 平塚市依頼、生活困窮者支援ネットワーク委員会で対応。 ④かながわ災害福祉広域支援ネットワーク神奈川県災害派遣福祉チームの設置に関する協定締結-協定締結に向けての資料内容確認。

報告事項 ①業務監督委員会(12月4日開催)の報告 ②会計執行状況 ③社会福祉センター移転に関する進捗状況 ④正副会長動向(前回理事会以降12月4日迄) ⑤各推薦後援状況-川崎市社協市民後見人養成研修講師推薦・大井町社協法人事業立上げ検討委員推薦等4件の推薦 ⑥11月11日理事会議事録



公開講座 & 研修会

お申込み・
お問合せは

電話：045-317-2045

FAX：045-317-2046 e-mail：web@kacsw.or.jp
公益社団法人神奈川県社会福祉士会 事務局 までお願いします。

月	日	開始時間	終了時間	研修名	概要	場所	主催	対象	費用
3	20	15:00	16:30	支部定例会 「災害と 社会福祉士(2)」	オンライン(Zoom)と 会場(リアル)併用	未定。 県士会HPで 告知予定。	湘南東	支部会員	無料
5	15	14:00	16:30 (後懇親会)	支部定例会、 全体会、 懇親会・い〜すとの会	「災害と社会福祉士」、 2021年度事業計画・ 予算の説明、情報交換、 懇親(新規会員歓迎会)	ミナパーク藤沢 6階多目的ホール3、 レストランふじ (同ビル1階)	湘南東	支部会員	無料

開催を予定しておりましたが、研修・公開講座等は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、やむなく開催を中止、あるいは延期する措置を取らせて頂いております。ご迷惑をおかけ致しますが、何卒ご理解頂きますようお願い申し上げます。なお、中止、延期の状況につきましては本会のホームページをご確認ください。

<http://www.kacsw.or.jp/publics/index/234/>

神奈川県社会福祉士会 研修 講座

検索



広報委員会よりお知らせ

BEST SHOTを
お待ちしております!



表紙写真大募集!!

あなたの写真で「かながわの風」の表紙を飾りませんか?

広報委員会では「かながわの風」の表紙を飾る写真を募集しています。

テーマ： 神奈川の風景

カメラ： デジタルカメラで、一眼レフやコンパクトカメラ、スマートフォンなど機種は問いません。

画素数： 3024×4032ピクセル以上

送信先： koho@kacsw.or.jp

【ご注意】

- 写真のファイルサイズが大きい場合は、クラウドストレージなどをご利用ください。送信方法が不明な場合は、左記メールアドレスまでご相談ください。
- 人物を被写体にししないでください。人物が個人を特定できるサイズで写っている場合は、同意を得た場合でも採用しない場合があります。
- 採用する場合は、掲載号発行前にメールにてご連絡を差し上げます。不採用の場合はご連絡を差し上げませんので、ご容赦ください。

編集委員も 同時募集中!

本会会員の皆様の中で、広報制作に興味・関心がお有りの方は、事務局までお知らせください。是非、新しい「風」づくりに参加をお願いします。なお、広報委員会は原則として奇数月の最終週の火曜日、19:00~21:00に開催しております。

(広報委員長：日向 明)

編集後記

「見えないものと闘った一年は、見えないものに支えられた一年だと思う」

あの黄色い箱でお馴染みのバランス栄養食のCMメッセージである。昨年12月からオンエアされているが、新型コロナウイルスなど様々な影響を受け、見えないものと闘う中で心を通わせ合う受験生と教師が描かれている。思えば私たちは常に「見えないもの」に支えられて生きているのだろう…。

私事で恐縮ではありますが脳梗塞で入院していた父親が昨年、霞路を抜けて永い旅へ向かいました。このコロナ禍にありながら献身的に看護を提供して下さった看護師に大変感謝を申し上げたい。また、病院名は伏せるが病棟のルールを逸脱してまで、「別れ」の時間を提供して頂いた当日の夜勤看護師に心からお礼を申し上げます。父親と共に病院を後にする際は師走の寒い夜空のもと、彼女は半袖のスクラブのまま見送りに来てくれた。あの夜、星明りのような優しさで私を灯してくれた貴方の姿を一生忘れないであろう…。看護師

という姿をした尊くそして凛としてどこまでも澄んだ精神にどれだけ支えられていたのだろうと思ひ知らされた。まさに見えない何かに力強く、そして優しく支えられていたのだろう…。

コロナウイルスは本県においては二度目の緊急事態宣言も発出され、依然として予断を許さない状況であり、目を背けたいくなるような感染者数を出している。ソーシャルディスタンスという名の下、人々の心の距離までも遠ざけようとしているが、こんな時に誰かを責めたり、誰かに怒りを向けたりすることが何になるだろうか。私たち一人ひとりが誰かを支え、そして誰かを守る為の「何か」になる時ではなからうか。「見えないものと闘った一年は、見えないものに支えられた一年だと思う」噛みしめたい言葉である。最後にCMの結びの言葉を贈りたい。「見せてやれ、底力。」

(広報委員長：日向 明)